



マスターフロー® 870

特殊セメント系 / 非金属骨材系
高性能無収縮グラウト材

(旧名: マスターフロー 870グラウト)

■ ■ BASF

The Chemical Company

特殊セメント系/非金属骨材系 高性能無収縮グラウト材

マスターフロー[®] 870

(旧名: マスターフロー 870 グラウト)

マスターフロー[®] 870 [MasterFlow[®] 870] は、各種グラウト分野のうち、主として土木・建築構造物および機械類の据付け工事に用いられる無収縮グラウト材で、静荷重はもとより動荷重を十分支持し、基礎部に均一に伝達することができます。また、流動性に富み、無収縮性で安定した強度発現性と耐久性を有します。

マスターフロー 870 は、使用時に水のみを加えてミキサで均一に練り混ぜることによって、常に品質の安定したグラウトが得られる「すぐ使える」プレミックスタイプの製品です。

特 長

1. 施工性(流動性)

流動性が優れているため、ライナーパッドやアンカーボルト等の介在物の隅々まで間隙部を充填することができます。

2. 無収縮性

所定のコンシステンシーの範囲内で練り混ぜられたグラウトは、材料分離やブリーディングが無く、安定した無収縮性を示します。

3. 強度特性

初期および長期強度とも安定した高強度を発現します。

4. 耐久性

乾湿の繰り返し、温度変化あるいは凍結融解等の環境条件に対して、優れた耐久性を示します。

用 途

- 鋼製支承、鋼製脚、橋梁塔基部、アンカーレイジ等の据付け工事
- 各種機械類の据付け工事
- 各種クレーン軌道等の据付け工事
- 鉄骨柱、鋼製煙突等の据付け工事
- 鋼板巻立て工事
- 各種アンカーボルトの固定

使用方法

1. マスターフロー 870 は「すぐ使える」プレミックスタイプの製品ですので、所定量の練混ぜ水を加えて、ミキサで均一に練り混ぜてから使用してください。
2. 使用水量は、材料温度、気温およびミキサの性能等によって多少左右されます。注入施工に適した軟度のグラウトを得るには、1袋当たり4.0～4.6ℓの範囲で使用してください。
3. 1袋当たりの練上り量は約13ℓで、1m³当りの標準使用量は1,875kg(25kg×75袋)になります。



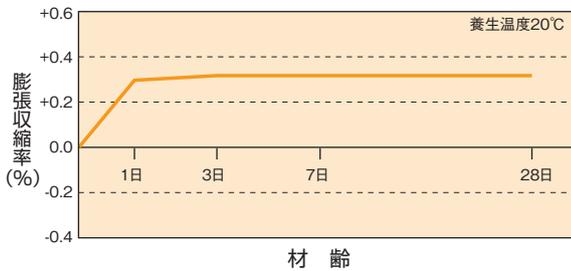
仕様

1m ³ 当りの標準使用量 (kg)	使用水量 (ℓ/袋)	コンシステンシーの範囲 (J14漏斗流下時間・秒)	練上り温度の範囲 (℃)	可使時間 (20℃)
1,875 (25kg × 75袋)	4.0～4.6	6～10	10～35	約30分

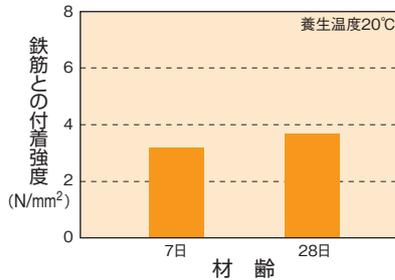
物性試験結果例

使用水量 (ℓ/袋)	コンシス ¹⁾ テンシー (秒)	練上り温度 (℃)	養生温度 (℃)	ブリー ²⁾ ディング率 (%)	凝結時間 ³⁾ (時-分)		圧縮強度 ⁴⁾ (N/mm ²)			
					始 発	終 結	1日	3日	7日	28日
4.3	7.0	20.0	5	0.0	9-45	13-45	3.4	27.6	43.0	69.2
			20	0.0	4-55	6-15	25.9	45.0	57.0	72.9
			30	0.0	3-15	4-05	38.4	56.7	65.1	76.4

● 膨張収縮率⁵⁾



● 鉄筋との付着強度⁶⁾



- 1) コンシステンシー: 上端内径70mm、下端内径14mm、高さ392mmのJ14漏斗を用い、土木学会規準JSCE-F541-1999「充てんモルタルの流動性試験方法」に準じて流下時間を測定した。
- 2) ブリーディング率: 土木学会規準JSCE-F542-1999「充てんモルタルのブリーディング率および膨張率試験方法」に準じた。
- 3) 凝 結 時 間: JIS A 1147: 2001「コンクリートの凝結時間試験方法」に準じた。

- 4) 圧 縮 強 度: 直径50mm×高さ100mmの円柱供試体を用い、JIS A 1108: 1999「コンクリートの圧縮強度試験方法」に準じた。
- 5) 膨 張 収 縮 率: 土木学会規準JSCE-F542-1999「充てんモルタルのブリーディング率および膨張率試験方法」に準じた。
- 6) 鉄筋との付着強度: NEXCO 3社 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」に準じた。

施工方法

1. 下地コンクリートの処理と型枠の組み立て

● 下地コンクリートの処理
健全なコンクリート面を露出させ、粗面状態で余剰水のない湿潤面とした上で施工してください。湿潤面にできない場合は、乾燥したコンクリート面に吸水防止材を塗布した上で施工してください。

● 型枠の組立て
一方から注入し、他方に流れる構造とした上で、すき間のないよう堅固に組立て、グラウトがもれないようシールをしてください。

2. グラウトの練混ぜ

グラウトは必ず機械練りとしてください。

3. 注入① (ホッパー圧工法)

※必要に応じて押え型枠を設置してください。

注入② (ヘッド圧工法)

注入③ (ポンプ工法)

※必要に応じて押え型枠を設置してください。

4. 養生および仕上げ

※必要に応じて養生剤を使用してください。

施工上の注意事項

1. 本品の練混ぜには必ずミキサを用い、練混ぜ水には水道水またはこれに準ずるものを使用してください。
2. 練混ぜにアルミ製の羽根等を使用した場合、異常膨張する恐れがあるため使用しないでください。
3. 充填間隙が薄い、または厚い場合および無拘束面（外部に露出する面）が大きい場合は、環境条件によりひび割れ等の不具合を生じる恐れがあるため、最寄りの事業所までご連絡ください。

取扱上の注意事項

1. 本品は吸湿性を有する粉末品ですのでセメントと同様に取り扱い、袋単位で使用し、破袋または一度開封して放置された製品は使用しないでください。
2. 本品は水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
3. 取り扱いに当たっては、防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
4. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
5. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
6. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、吐かせた後、専門医の診察を受けてください。

包装形態 25kg防湿袋詰

※本商品についてのお問い合わせは、最寄りのエリアまでご連絡ください。

BASF ジャパン株式会社 建設化学品事業部

東京本社	東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 21階 (〒106-6121)	(代) TEL 03-3796-9710 FAX 03-3796-9980
東北エリア	宮城、青森、岩手、秋田、山形、福島、北海道	TEL 022-796-9570 FAX 022-796-9572
関東エリア	東京、神奈川、千葉、茨城、埼玉、栃木、群馬 新潟、長野、山梨、静岡	TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960
関西エリア	大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山、兵庫、愛知、三重 岐阜、富山、石川、福井、香川、徳島、高知、愛媛	TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244
九州エリア	福岡、佐賀、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄 山口、広島、島根、岡山、鳥取	TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273

www.pozzolith.basf.co.jp

- ◎：世界各国におけるBASFグループの登録商標です。
- ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
- 万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。
- 本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。
- BASFジャパン(株)建設化学品事業部は、茅ヶ崎工場及び茅ヶ崎技術開発センターにて、ISO9001及びISO14001を審査登録しています。

